

費用

概算事業費

- ・北田町（現在地）では、庁舎建設、仮設庁舎、立体駐車場に加えて地盤の切り下げに伴う擁壁の築造、隣接地取得に伴う用地費等を考慮しています。
- ・南二日町広場では、庁舎建設に加え、浸水対策のためのマウンドアップ、建物基礎、乗り入れ口等の他、道路整備に係る費用等を考慮しています。
- ・いずれの候補地においても、引っ越しや備品、OA 機器等に関しては事業スキームが定められないことから算出ができません。

概算事業費比較 (千円)

整備地	北田町（現在地）	南二日町広場
庁舎建設費	9,967,748	9,186,027
仮設庁舎整備費	48,724	0
立体駐車場建設費	695,980	0
造成費※	81,651	374,742
解体工事費	214,638	214,638
付帯業務費	102,531	102,531
用地費	43,254	0
道路整備費	0	158,720
合計	11,154,526	10,036,658

上記費用に含まれない主なもの

- ・引っ越し（本移転、仮移転とも）
- ・備品（本移転、仮移転とも）
- ・OA 機器等の設置及び配線等（本移転、仮移転とも）
- ・用地取得に係る物件補償、営業補償
- ・消防団詰所移転費
- ・交通基盤整備に係る費用
- ・跡地等の売却益
- ・利便施設等の整備や収益（賃料等）に関する費用

※：立体駐車場整備及び浸水対策に伴う造成に要する費用

- ・現在は、事業の骨格となる基本構想の策定段階であることから、ここに示す事業費は、国土交通省の新営予算単価に基づく一律の単価を用いた概算であり、大まかな目安としてとらえています。
- ・今後、基本計画や基本設計、実施設計など様々な段階において検討を重ね、できる限りコストを削減しながらも、長きに渡り使用できる庁舎として、必要な品質や性能の確保

が図れるように取り組んでまいります。

- ・道路整備費は土木課算出による概算費用となります。

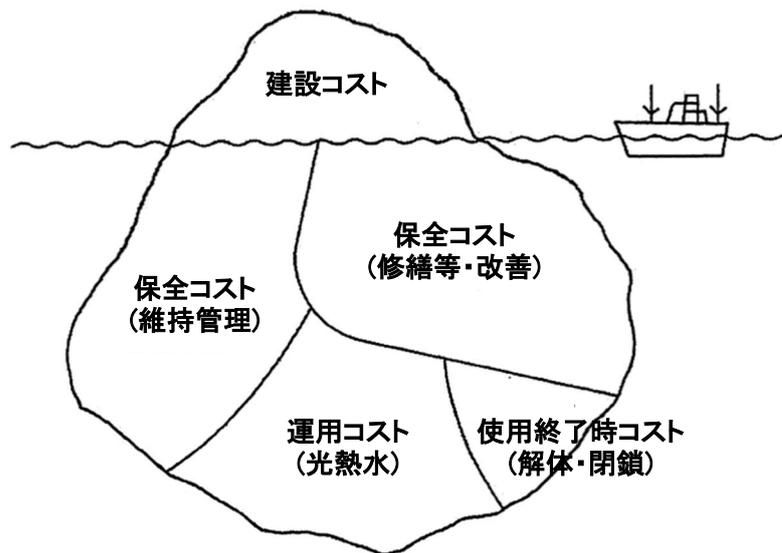
概算ライフサイクルコスト

- ・建築物の生涯にかかるコスト（ライフサイクルコスト（以下、LCC））とは、建築物の建設に直接必要となる建設コスト、使用期間中の光熱水費や保険料等の運用コスト、維持管理や修繕等に係る保全コスト、建物取り壊し時に係る使用終了時コストを総計したものをいいます。
- ・基本構想段階における概算 LCC は、国が監修するプログラムを用いて、庁舎は 80 年、立体駐車場は 40 年に目標使用年数を設定し算出しています。

基本構想段階における概算 LCC の比較 (千円)

整備地	北田町（現在地）	南二日町広場
建設コスト※	11,063,000	9,878,000
運用コスト	3,040,000	2,860,000
保全コスト（維持管理、修繕等）	18,499,000	17,536,000
使用終了時コスト	704,000	624,000
合計	33,306,000	30,898,000

※：概算事業費から仮設庁舎整備費及び用地費、道路整備費を除いたもの。



LCC の概念図